

材料力学部門研究分科会報告

A-TS 03-27 : 学会基準「機械構造物の信頼性に関する一般原則」開発研究会

主査 酒井信介 (東大), 他 15 名

信頼性工学は近年の機械構造物の安全・安心への要求の高まりから重要度が増しているが、この分野はどちらかというと建築・土木の分野が先行してきた。この一因として、機械工学分野では出発点となる基準が存在していなかったことが挙げられる。本研究会は、機械工学分野においても「信頼性の一般原則」を学会基準として発行することを最終目的とすし、2015年の3月まで活動を行う。2015年度中の学会基準発行手続き開始を目指している。これまで、部門協議会直属分科会 (P-SCCII)「機械構造物の設計・維持への荷重・耐力係数法の適用に関する研究分科会」(2008年4月-2010年3月)と材料力学部門分科会「荷重・耐力係数法による信頼性評価の実用化に関する研究分科会」(2010年4月-2013年3月)の活動があり、本研究会の母体となっている。これらの活動の成果として、「機械構造物の信頼性設計ガイドライン」が分科会成果報告書として発行されている。本研究会では、これまでの二期にわたる分科会活動をベースとして、「信頼性の一般原則」に関する学会基準へと結びつける。なお、本研究会活動と並行して、JIS規格化も目指しているが、学会基準はJIS規格の詳細な技術レポートとしての位置づけとなる予定である。JIS規格や学会基準の発行を通じて、機械分野において信頼性工学の普及が加速度的に進むことを期待したい。なお、二期に渡る分科会活動の成果報告書は、pdfファイルとなっており、希望者には無償提供している。